



## 本日のテーマ

- 講義の目標と構成（別紙参照）
- はじめに：食料生産管理学の対象領域
- 食料資源と生産活動

キーワード：

食料資源，自律更新的資源，他律更新的資源  
持続性

## 農学のなかの食料環境経済

三つの経済分析の複合領域

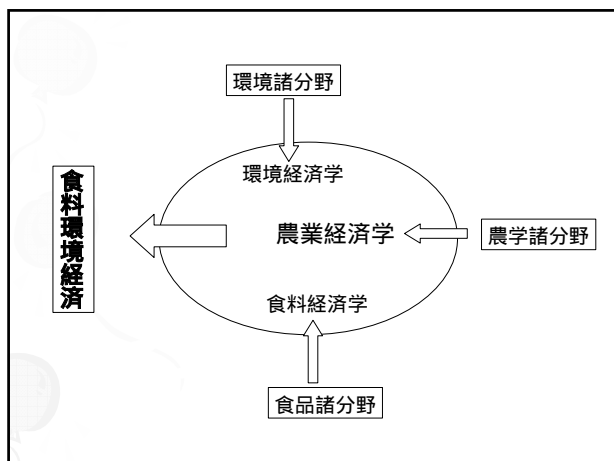
- 1) 農業経済学（狭義の意味）  
農学諸分野（広い自然科学の知識と技術）を経営・経済的視点で分析
- 2) 食料経済学  
食品にかかわる諸分野の技術開発と応用を経営・経済的視点で分析
- 3) 環境経済学  
農林水産業にかかわる資源と環境の利用・保全を経済・社会の視点で分析

## 食料生産管理の位置づけと範囲

食料環境経済に関わる総合的な学問領域と調査研究のなかで、

流通・消費・廃棄を視野に入れて農業生産，  
漁業生産のあり方を議論

現代社会が引き起こす食料生産にかかわる資源・環境問題を総合的に捉える努力

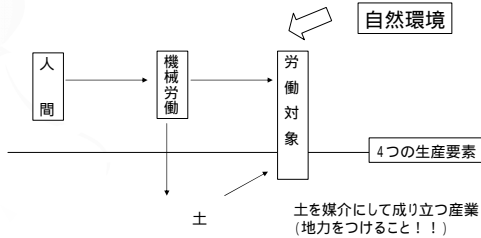


## 農業にみる生産管理の課題

- 目標 持続可能な生産力の発展  
特に，世代を越えて使われる土地は，手放すことのできない生産条件。生産過程に大きな影響を与える環境の持続性を追求
- 2つの課題
  - 1) 農業食料資源の持続的かつ効率的利用
  - 2) 食料生産の担い手（経営主体）をどうそだてるか

## 農業の独自性とは？

- 「土地生産性」にあらわれる  
一般的な労働手段。同時に、作物や根や肥料を収納し、  
養分や水を供給してくれる器の役割（田代洋一）



## 農業の独自性とは？

- 生産の担い手にも現れる  
現代社会の経済主体は企業と家計  
企業 生産活動を通して財やサービスを家計に販売  
家計から要素資源を調達し、対価を払う  
家計 所得をえて企業の生産する財やサービスを購入

### 農家のもつ2面性

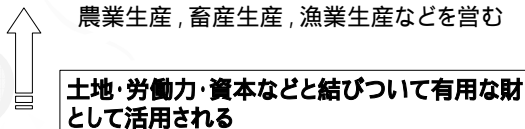
- 1) 食料を生産することで安定的な収益性をえる
- 2) 消費経済の単位でもある(家計として行動)

### 食料生産の経営的な特徴

## 食料資源とは？

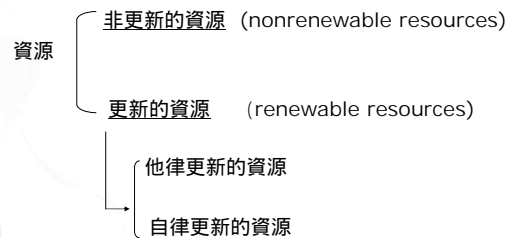
人間: 自然界に存在する生物資源(動物, 植物, 水産物)を計画的に採種, 栽培, 飼育して, 食生活に有用な食料を確保している

- 食料として利用される植物, 畜産物, 水産物などが「食料資源」となる



## 食料資源の基本的性格: 更新性

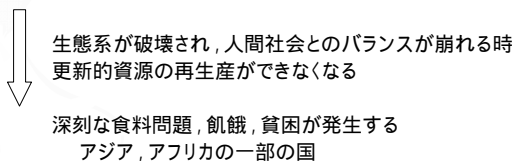
- 資源には異なる二つの性格



## 更新的资源を持続的に利用するには！

- 更新的资源を持続的に利用するには, 土地, 水などの自然的環境を十分に保全する必要がある

保全に留意しなければ, 資源の再生が阻害されてしまう



## 農漁業地域: 市場メカニズムを通じた資源・環境破壊

### 対抗

持続的生産の追求(Sustainability)  
環境に優しい技術体系の確立,  
地域資源・環境の持続的利用と管理

地域資源の有効な活用のための諸方策

経済原則と市場メカニズムによってのみ動くフード・システムへの対抗をかんがえつつ！

## 講義の視点

### 食料生産管理

持続的な利用と管理を可能にする社会システムの検討  
を三つの視点から

- 1) 日本は食料資源をどのように利用しようとしてきたか(政策的な視点: 農業と水産)
- 2) 生産者は食料生産の持続性を維持するためにどのような社会システムを築いてきたか(地域資源管理の視点: 漁業)
- 3) グローバリズムのなかで食料生産を営む社会をどのように維持していくか(地域社会維持の視点)

## 演習問題

- 1) 人類の二大食料資源といわれる麦と米の地域的偏在を地図で確認し、日本の食料資源の特徴をあげなさい。
- 2) 農業の産業としての特性を、工業と比較しながら説明しなさい。

## 発展問題

- (1) 食料資源の基本的性格を、次の4つの視点から説明してみよう。
  - 1 更新性
  - 2 気候と風土
  - 3 環境条件
  - 4 経済条件
- (2) 世界的な規模の食料問題(食料資源の不足)は存在すると思いますか? その理由も含めて述べなさい。